

第10次記念ラオス訪問団募集中!!

南砺ラオス会 会長 片岸 博

ポイント **世界遺産2カ所(ルアンパバン・ワットプー)を視察**
世界遺産の街で托鉢体験
病院へ車椅子、松葉杖、血圧計、体温計等の医療器具を寄贈
田舎の中学校や小学校に文房具等を寄贈
現地の銀行とペタンクでの交流大会

日時 平成26年2月2日(日)～2月8日(土)
 旅費 約248,000円 9月末時点での参考価格です(シングル追加料29,000円)
 交流費用、中部空港までの交通費、空港税、航空保険、燃油サーチャージを含む。
 ただし、燃油サーチャージの変動有れば別途追加必要。
 募集人員 約15名(最小催行人員10名)
 締切日 11月25日厳守(期日後の受付はしますが料金が高くなります。)
 申込み相談は、南砺ラオス会各会員または渉外部長高橋まで(携帯090-8263-7568)

予定表 運送機関、天候、現地の事情により一部を変更する場合があります

月日	都市	時間	交通機関	スケジュール
① 2/2 (日)	福光 IC 発 中部空港 着 中部空港 発 ハノイ空港 着 ハノイ空港 発 ルアンパバン空港 着 ルアンパバン	早朝 午前 午後 夜	専用車	中部空港へ ベトナム航空カウンターにてチェックイン ベトナム航空にてハノイへ 着後乗継ぎ手続き ベトナム航空共同便にて 世界遺産の街ルアンパバン へ 着後入国手続きを済ませホテルへ 朝食：× 昼食：機内食 夕食：レストラン 宿泊：マラックホテル等クラス
② 2/3 (月)	ルアンパバン	終日	専用車	早朝： 托鉢体験、朝市見学 朝食後： パクセの洞窟(モン川クルズにて)、途中酒造村、織物村立寄 午後： 世界遺産の街並み、王宮博物館、ワットシェントーン、ワットマイ、 夕刻： プーの丘、ワット見学 (天候により見えない場合あり) 夕食後：ナイトマーケット 朝食：ホテル 昼食：レストラン 夕食：レストラン 宿泊：マラックホテル等クラス
③ 2/4 (火)	ルアンパバン	終日	専用車	午前： 県立ルアンパバン病院へ車椅子・血圧計等医療用品寄贈 午後： フェイクン中学校文房具寄贈 夕刻： 農業開発銀行と第3回ペタンク交流 朝食：ホテル 昼食：レストラン 夕食：レストラン 宿泊：マラックホテル等クラス
③ 2/5 (水)	ルアンパバン パケ	午前 昼	専用車 専用車	午前：ラオス航空国内線にてパケへ 午後：着後 フンの滝、コーヒー園、パーラムの滝、少数民族村視察 朝食：ホテル 昼食：レストラン 夕食：レストラン 宿泊：パケチャンパックホテル等クラス
④ 2/6 (木)	パケ	終日	専用車	午前： チャンパック街並、ノビエン小学校文房具寄贈、世界遺産ワットプー視察 午後： コンパバンの滝へ 朝食：ホテル 昼食：レストラン 夕食：レストラン 宿泊：パケチャンパックホテル等クラス
⑤ 2/7 (金)	パケ パケ空港 発 ビエンチャン空港 着 ビエンチャン空港 発 ハノイ空港 着	午前 昼 夕 夜	専用車	午前： パケ庶民の台所、タートダオァン見学 昼：ラオス航空国内線にてビエンチャンへ 着後、 タートアン・パトラーサイ視察、その後、イライ中学校へ、 吉江中学校生徒会寄贈品等を贈呈 ベトナム航空にてハノイへ 着後乗継ぎ手続き 朝食：ホテル 昼食：レストラン 夕食：レストラン 宿泊：機内泊
⑥ 2/8 (土)	ハノイ空港 発 中部空港 着 中部空港 発 福光 IC 着	深夜 朝	専用車	ベトナム航空にて中部空港へ 着後入国手続き 南砺市へ向けて 到着 お疲れ様でした 朝食：機内食 昼食：× 夕食：×



協賛予定 ラオス教育省、ラオス保健省、駐日ラオス大使館、チャンパサック県、ラオス国営航空、他



ほほ笑みの女性達が待ってます 第9次訪問団 パケノビエン小学校にて

第5次訪問団 サイトン郡 イライ高校にて

ルアンパバン

World heritage city Luangprabang

ルアンパバンはランサン王国(1353-1975)の王都で、古くはムアン・スワといい、その後シェントーンと呼ばれるようになった。カーン川とメコン川の合流地点に位置する緑豊かな町ルアンパバンは、その美しいラオスらしい町並みと、歴史的、文化的遺跡保護の観点から、1995年、ユネスコによって世界遺産に指定された。プーシーの丘から町並みが一望でき、ルアンパバン名物でもある夕陽は荘厳だ



王宮博物館 Royal Palace Museum

フランス植民地時代の1904年に当時の王シーサワンウォンとその家族の宮殿として立てられた。メコン川沿いに位置し、メコンを旅してきた公式客を出迎えるための棧橋を備えている。現在は博物館になっており、世界各国からの贈呈品や黄金仏などが展示されている



パクオウ洞窟 Pak Ou Caves

王宮博物館の棧橋より船で約2時間、メコン川をおよそ35km遡る。16世紀にセティラート王により発見されたといわれ、洞窟内には人々が運び込んだ4000体以上の仏像が安置されている。



ワット・シェントーン Wat Xieng Thong

この寺院は、1560年にセティラート王によって王家の菩提寺として建立された。屋根が軒に向かって低く流れるように作られている、典型的なルアンパバン様式の建物で、ルアンパバンで一番荘厳な寺院である。本堂裏側のタイルによって描かれた「生命の樹」のレリーフは素晴らしく、一見の価値がある。

パクセ Pakxe

チャンパサク県は南西ラオスに位置し、タイとカンボジアに国境を接している。県とはメコン川とセドン川の合流地点に位置しているパクセ。チャンパサクはカンボジアにアンコールワットを建設したクメール民族の発祥の地と言われている。アンコールワットの先に見た方が良いですよ。また、チャンパサクはまだ原始的な自然が残っており、エコ・ツーリズムに適する地域としても注目されている。



世界遺産のワット・プー World heritage Wat Phu

ワットプーとは山のお寺と言う意味で、小高い丘を利用して建立された広大なお寺。300mほど続く参道を経て、北殿と南殿の間を西に進むと本殿に続く石段が始まる。文献によるとこの主祠堂の建造は7世紀とされ、アンコール時代にはリングが安置されていた。

コーンパペンの滝 Khone Phapheng Falls

コーンパペン滝は、ラオス南部のチャンパーサク県にあるメコン川最大の滝。コーン島やカンボジア国境からも近い。滝の高さは21mで、川沿いに10km以上に渡って滝が続いている。平均流量は約11,000km³/sである。滝の周辺は島と流路が点在している。



タラート・ダオフアン Talat Dahofan

パークセーでは最大の市場。この周辺は、土地開発の真っ最中で、これから益々賑わいを見せる場所になるだろう。この市場は大勢の買い物客で賑わっている。ソンテウなどの乗り物に乗って来る人も多く、駐車場にはトゥクトゥクやソンテウが隙間なしに客待ちをしている。生活に必要な物は何でも売られており、野菜から金までが売買されている。



ビエンチャン Vientiane

ランサン通り Lane Xang Ave.にあるパトゥーサイ Patousay はパリの凱旋門を模して作られた。ラオス語でパトゥーとは「扉」「門」の意味、サイとは「勝利」の意味である。下から見上げた天井にはラオスの典型的なモチーフ、神々や3頭の像などのレリーフがある。もともとは戦没者の慰霊碑として1960年から建設が始められ、新空港建設に使用されるはずだったセメントで建てられたものである。朝の8時から夕方5時までの間は上に上ることが出来、ヴィエンチャン市内を一望できる。

パトゥーサイ (凱旋門) Patousay

